

近藤ゼミナール

文責者：4年 橋本郁弥 寺川一輝 河嶋慶太

ゼミの目的・概要

近藤ゼミナールでは、マーケティングを座学で学び、その知識を応用し、実際に学外の企業や団体と活動を通して地域活性化を目指す。その活動の中で、学生自らが問題解決を模索することより、企画力・提案力を身に付けることを目的としている。

私たちは、座学で学んだパイン・ギルモアの体験価値というものをもとに活動を展開している。パイン・ギルモアの体験価値とは、図1のように2つの軸があり横軸は顧客の参加の度合い、縦軸は、顧客とイベントや出し物といった経験を深く結びつける関係性を表している。

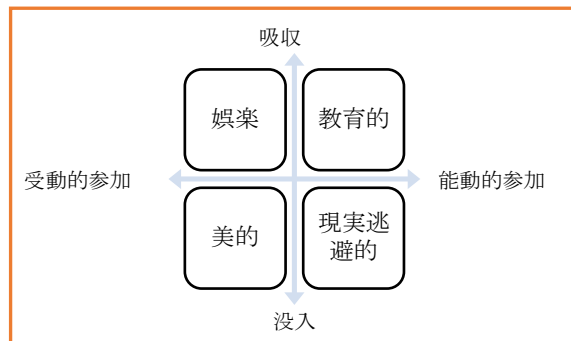


図1 パイン・ジョセフ2世, ギルモア・ジェームス・H(2005)「経験経済-脱コモデティ化のマーケティング戦略-」ダイヤモンド社, p.57を基に筆者作成

地域活性化(瀬戸内カレッジ 2022)

自治体や企業と連携し、地域活性化について考え提案する活動。本年度は、瀬戸内カレッジ 2022 に参加し愛媛県西条市の観光促進について活動した。実際に西条市に訪問したり、市役所の方とミーティングしたりし、若者目線で考え、最終報告会で提案した。瀬戸内カレッジとは、JR西日本・自治体・大学が連携し、若者視点を活用した地域活性化、旅行需要の喚起、学生の成長機会の創出を目指す産官学のプロジェクトである。



観光関連産業

日本旅行業協会と関西エアポート株式会社主催する「学生と旅行会社が作る海外旅行」といった、ツアー作成コンテストなどに参加し、ツアーの商品開発や観光パッケージの開発をおこなった。



商品開発(駅弁)

商品開発チームでは、企業と連携し、お土産を基本とした商品開発をおこなう。本年度は、若年層の駅弁離れという問題に着目し、老舗駅弁屋である株式会社淡路屋様と連携し、若年層をターゲットに駅弁の商品開発をおこなっている。淡路屋様でのヒアリング、京都駅周辺でのアンケート調査などの活動を通し「大人の遠足弁当」を考え開発中である。



学外発表

ゼミでの活動を学会で発表した。今年度は日本観光経営学会第2回次世代観光経営フォーラム、韓国大邱大学で開催された東北亜観光学会に参加した。



日本観光経営学会では優秀賞を獲得、東北亜観光学会では最優秀賞と優秀賞を獲得した。